

開催協議会名	令和5年第1回雲南警察署協議会		
開催日時	令和5年2月13日（月）午後2時から午後4時まで		
出席者	協議会委員	8人（中祖会長、松浦副会長、伊藤委員、多田納委員、村尾委員、吉長委員、内田委員、糸原委員）	
	警察署	12人（署長、副署長、総務課長、留置管理課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、三成広域交番所長、掛合広域交番所長、刑事課長、交通課長、警備課長）	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	令和5年雲南警察署運営指針・重点目標
		説明概要	副署長及び関係課長が、諮問事項に関する現状、課題等について説明した。
		答申(意見等)	<p>1 住民を守る強くしなやかな警察 雲南警察署においては、委員からの提言を速やかに実行するなど、しなやかな取組を推進している。 今後も一層、警察との連携が必要となる社会が訪れようとしており、引き続き的確な対応を願う。</p> <p>2 高齢者の安全確保対策 認知症高齢者等が行方不明になった場合、雲南地域高齢者等見守りSOSネットワークを活用し、メール配信により情報提供を呼びかけているとのことであるが、匿名よりも実名の方が、住民の関心が高まることから、不明者家族に協力を求め、極力、実名による情報提供依頼を行った方が良い。</p> <p>3 地域住民に対する適時適切な情報提供 短時間に何回もパトカーや警察官の姿を見たとき、何か大きな事件・事故が起きたのではないかと心配になる。 このようなとき、警察に問い合わせをする場合があるので、可能な範囲内で情報提供を行ってほしい。</p>

		<p>4 大規模災害対策の推進</p> <p>大規模災害に対する住民の危機管理意識を醸成するため、高校書道部との連携による注意喚起標語の作成を準備中とのことであるが非常に良い取組であるので、積極的に推進してほしい。</p>
	<p>委員からの意見・提言</p>	<p>1 ストーカー殺人事件について</p> <p>全国では、警察が相談を受け対応していたストーカー事案について、結果として殺人事件に発展したものがあがるが、法律上の対応に限界があるのではないかと、危惧している。</p> <p>2 地域警察官による巡回連絡について</p> <p>駐在所員が、一人暮らし世帯を丁寧に巡回連絡しており、非常に感謝している。</p>
視 察		<p>「交通安全教育機器を活用した参加・体験型講習」について、交通安全アドバイザー等から説明を受けながら、下記の機器を体験した。</p> <p>1 自動車シミュレータ</p> <p>画面を見ながらハンドル・アクセル・ブレーキ操作を行い、道路に潜む危険を疑似体験した。</p> <p>2 歩行シミュレータ</p> <p>画面を見ながら足踏みし、歩行者目線で自動車が往来する道路での横断を疑似体験した。</p> <p>3 反射材体験BOX</p> <p>暗室をのぞき込み、夜間における、色の見え方の違いや反射材の着用効果を体験した。</p> <p>4 クイックステップ</p> <p>点灯したランプの色と同じ色のマットを素早く踏み込むことにより、ゲーム感覚で俊敏性を測定した。</p>
そ の 他		<p>先日、自治会を通じて、雲南警察署の広報誌「雲南のまもり2023年」が自宅に届き、読んだところ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 警察官募集に関する若手署員による志望理由の紹介 ○ 地域住民と連携した標語の作成 ○ 体験機材等を活用した講習の紹介 <p>など、これまで委員が行ってきた提言が反映された内容となっており、素晴らしいと思いながら拝見した。</p>

写真



【会長挨拶】



【署長挨拶】



【副署長説明】



【協議状況】



【自動車シミュレータ体験】



【歩行者シミュレータ体験】



【反射材体験BOX】



【クイックステップ体験】

